福岡県立育徳館高等学校

ICT活用によって変化する生徒の学び

～主体的・対話的で深い学びの実現のために、ICTができることとは？～

ICTの活用によって生徒に身に付けさせたい力

①正しく情報機器を用いて自ら学び続ける力
②情報を素早く集め、手に入れた情報を精査して適切に読み取る力
③自分の考えや意見を、ICTなどのツールを活用して表現する力

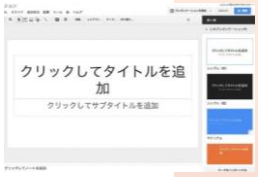
ICTスキルと学びのスタイルを身に付け、社会で活躍する人物の育成

ICTスキルとは？
①情報モラル・情報リテラシーのある情報機器活用能力
②コミュニケーションスキル
③プレゼンテーションスキル
④ファシリテーションスキル

学びのスタイルとは？
①アウトプット前提のインプット
②デジタルとアナログの融合
③個別最適な手法や段階で行う学びの形

本校での実践

実践①
ディベートや発表
活用ICT：Googleスライド



スライド

スライドをクラス全員で共有しながら編集することができる。

実践②
課題探究学習
活用ICT：Chromebook

総合的な探究の時間で行う「育徳プラン」（課題探究学習）

一人一台の端末を使うことにより、情報収集を容易に。レポートや発表資料を制作することが可能。

実践③
課題配信
活用ICT：スタディサプリ

スタディサプリ
大学受験講座

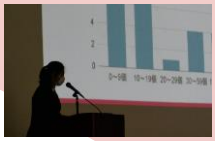
学習動画の視聴、課題配信が可能。
講義動画を視聴し、予習・復習を支援する。
生徒の頑張りを「直接」＋「オンライン」の両方で伝える。

ICTの活用による学びの変化

成果①
他者と協働し、自分の意見を豊かに表現する生徒の育成

・スライド上で図や表を用いて意見を交流できるため、議論がより深いものとなる。
・様々な見方・考え方を学ぶことができる。
・全ての生徒が、発表のために協議したり、入力作業に主体的に取り組むことができる。

成果②
情報を収集し、精査する生徒の育成



・ICT情報収集の能力を培うことが可能。
・情報の精査を行い、意見をまとめて発表する学習ができる。

成果③
自らの学びをモチベートする生徒の育成

・生徒が時と場所を選ばず良質な学びを得られる。「学びを止めない」環境の実現
・学びを調整・設計し、PDCAサイクルを確立。
・生徒は学習内容を先取りすることも可能。
・基礎知識が定着し、授業では知識を活用した議論の時間を作ることができる。

ICTの活用により、多様な生徒が協働し個別最適な学びをすることが可能

今後の課題

・一人１台端末の導入…使用ルールの周知徹底や管理方法の検討
・教材準備・課題作成など教員の業務負担の軽減
・教員側のICT機器への理解(すべての教員が使えるように)